

文京区アカデミー推進計画 | 国際交流第3回分科会  
 施策体系(案)

分野別の目標	基本的な方向	現行計画との対照	分科会でのご意見等
1. 国際理解を育む機会づくり	(1)交流の機会の拡充	2-(1)・(2) ・(3) 3-(2)	国際交流フェスタはできれば複数回やった方がよい。たとえば毎回国を変えて実施すれば、外国人も、出展者としてだけでなく、来場者として楽しめるのではないかと。 国際交流フェスタの会場で、交流する仕掛けが拡充するとよい。 UNWOMEN や大学、留学生、ABK などの地域資源の活用することで機会の拡充が可能ではないか。
	(2)海外都市との交流の活性化	2-(4) 2-(2)	カイザーズラウテルン市とは計画期間中に姉妹都市提携 30 周年を迎えることを契機にした事業が検討できる。 姉妹都市については小学校の授業で習うが、大人になると忘れてしまう。情報提供を広げた方がよい。 国際交流は区民で既に取り組んでいる人がたくさんいる。そういう人を区が探してはどうか。
	(3)区民の国際理解の推進	1-(1)・(2) 2-(2)	子どもの国際交流に、リタイアした世代が協力できることもあると思う。 区が既に取り組んでいる人をサポートして、取組みを広報していけば、他の区民の意識はすぐに高まるのではないかと。そうすれば「私もやろう」という人が増えるのではないかと。
2. 外国人が快適に暮らせる環境づくり	(1)区の歴史文化等への理解の推進	1-(2)	区民の中でも外国人を受け入れる体制もまだ十分でないとも感じている。うまく雰囲気、体制をつくっていけるとよい。 留学生が日本の事を知る過程で区民の方が外国人と交流し、国際感覚を養い、区民のレベルから取り組んでいくという視点が大事なのではないかと
	(2)外国人の暮らしに対する支援	3-(1)・(2)	—